



商いは飽きない。

「続くもの」の本質を
TAOISMの教え

売上や拡大だけを追うから、続かない。
「続く構造」を知らなければいけない。

商しい = 飽きない

この言葉には、単なるビジネス以上の本質が隠されています。

内側

外側

= 好きでい続けられること

= 求められ続けること

【自分が飽きない】

「商い」の持続

【相手に飽きられない】

商いとは「好きであり続けること」と「好かれ続けること」の一致。
どちらか一方だけでは、絶対に成立しません。

【独りよがり】



【内外の整合(TAO)】

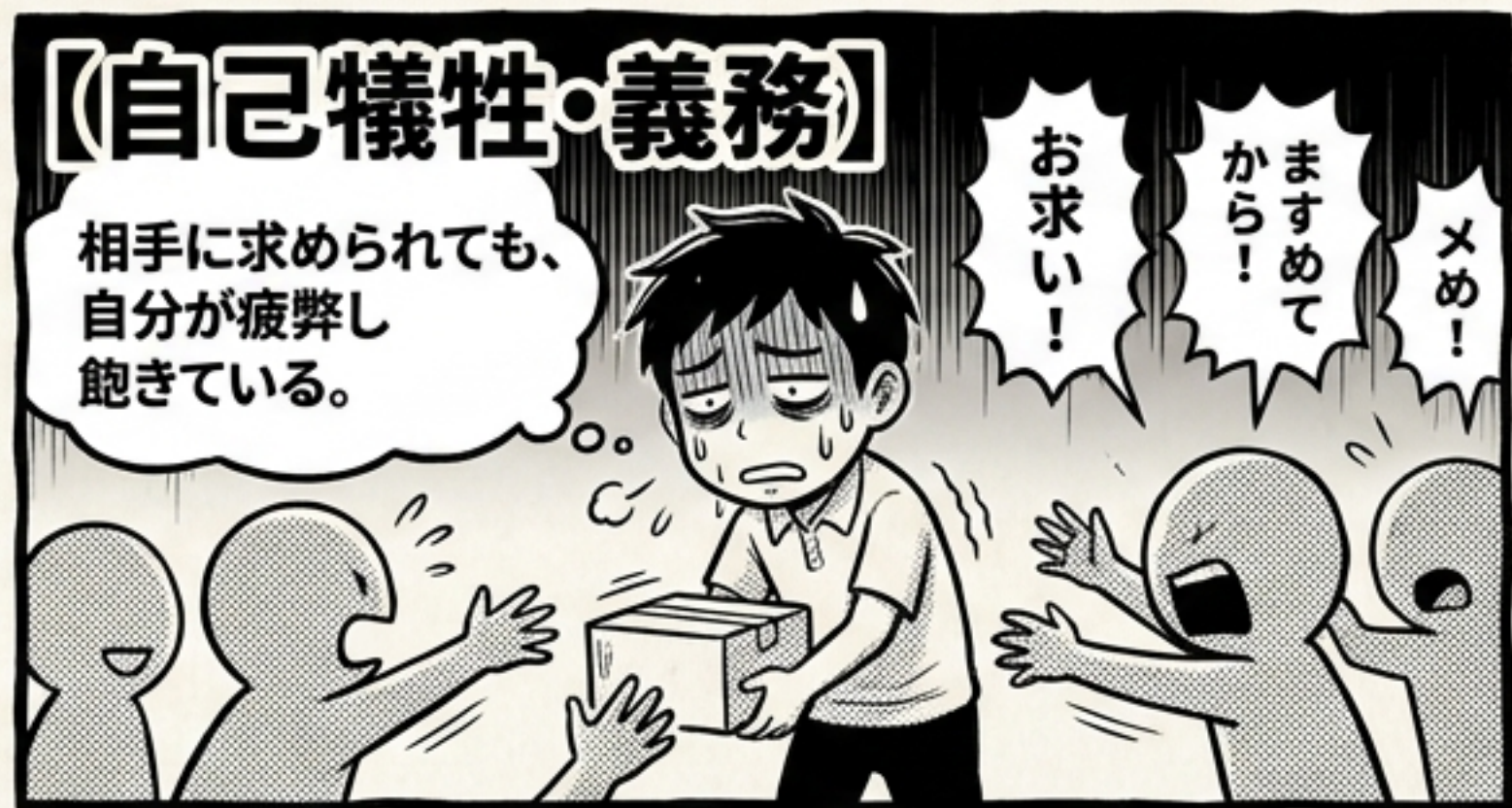


↑好き
↓自分
↑飽き

【衰退】



【自己犠牲・義務】



←飽きる

相手

求める→

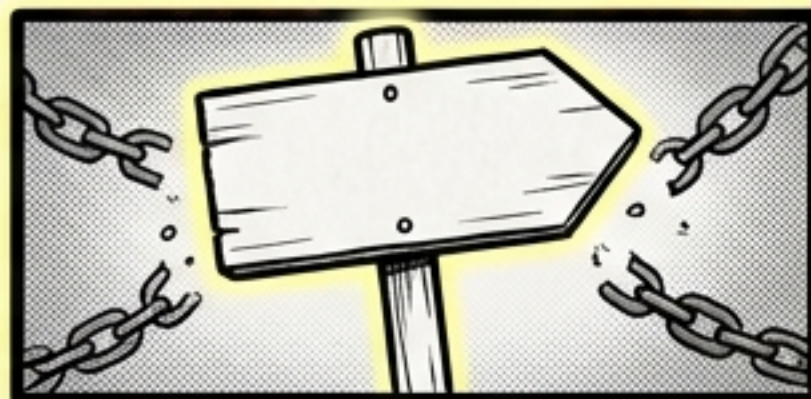
人はなぜ、飽きるのか？



理屈はとってもシンプルです。
以下の3つが欠けると、
すぐに「飽き」が生まれます。



変化がないもの



**意味を
感じられないもの**



成長がないもの

【刺激】

常に変化があり、
意味があり、
進化しているものは、
絶対に飽きられない。

【意味】

【進化】

【進化】



重要視すべきは「順序」

**「まず、自分が
飽きていないこと」**

**自分が飽きている状態で、
相手を満足させ続けることは
不可能です。これが「構造」です。**

【1. 自分を観る】



この商いを好きでいられているか？
情性で動いていないか？
成長を感じているか？

【2. 相手を観る】



提供価値は更新されているか？
関係性は深まっているか？
飽きられていないか？

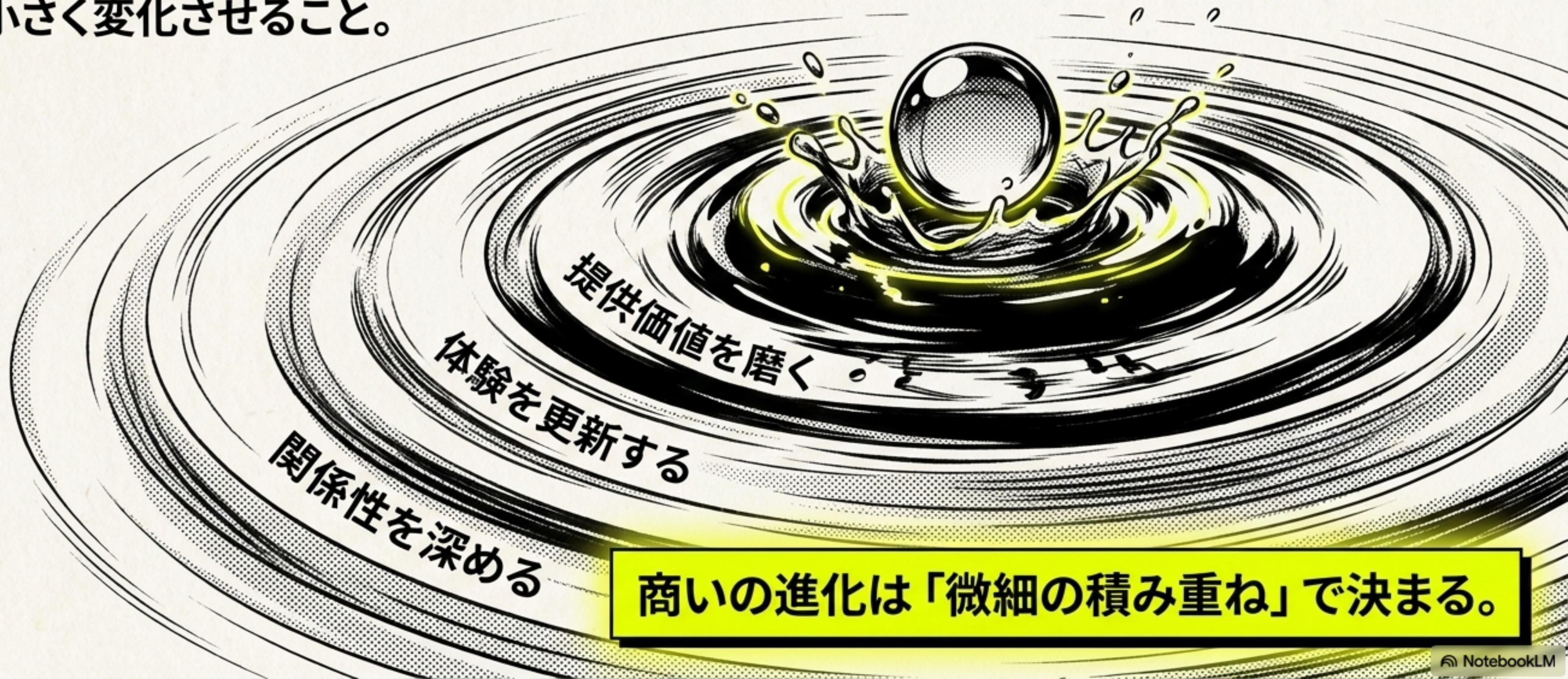
【3. 客観視する】



なぜ自分は他サービスに
飽きたのか？なぜ世の中で
続いているものがあるのか？

大きな改革はいらない

十織、五省、瞑想を通じて認知を整えたら、
小さく変化させること。



商いの進化は「微細の積み重ね」で決まる。

慢心という罠

「一度うまくいったから、
変えなくてもいいだろう」



そう思った瞬間から、
すでに「飽き」は
始まっています。

過去の自分と戦う「問い」を
やめた時、商いは止まる。

続くものこそ、本物。

本質を見抜き、理屈を理解し、徳を磨き、続く形に整える。
誰かのために価値を届け、共同体の中で循環すること。

「あなたの商いは、飽きずに続いていますか？」
「そして、飽きられずに愛されていますか？」

